

「歩く県道・銀山街道」

地域づくりニュース H28 Vol.2

福島県の交通不能区間となっている旧街道（銀山街道）を利活用し、地域の活性化に繋げることを目的として、美女峠と吉尾峠（昭和村側）において街道修繕の道普請を行いました。延べ人数で97名の参加があり、資材の運搬や掘削等、作業は全て人力で行いました。初めて作業を経験された方もいっしょにいましたが、全員が協力し、安全で歩きやすい道に仕上げることができました。

美女峠の道普請 ●実施日● 平成28年9月15日（木）・16日（金）

●参加者● 美女峠の里まがた、銀山街道を活用して地域を元気にする会、東北芸術工科大学の学生・教員、三島町・昭和村・福島県の職員 2日間延べ人数 44名

路肩にクラックが入り崩落の危険があった箇所に、土側溝と横断側溝を整備して排水効果を高めるとともに、路肩に丸太による土留柵を設置して安定させました。また、わだち掘れが深くなった箇所に、車輛の登坂が可能となるように、丸太と鉄筋杭で山道落差工を施工しました。

土側溝と横断側溝の掘削



地盤が固い箇所もありましたが、地元の人に力を発揮していただき掘削作業は順調に進みました。

路肩の補強作業



杭と横木を番線ですっかり固定しました。番線作業も手際良くできるようになりました。

山道落差工の丸太杭設置



表流水により路面が洗掘されないように、丸太の配置を工夫して、鉄筋杭で固定しました。

施工後の様子
(路肩クラックの補修箇所)



クラックに雨水が流入するのを防ぎ、路肩を補強しました。来春、雪による影響についても調査します。

吉尾峠の道普請 ●実施日● 平成28年9月29日（木）・30日（金）

●参加者● 銀山街道を活用して地域を元気にする会、東北芸術工科大学の学生・教員、奥会津振興センター、昭和村・只見町・福島県の職員 2日間延べ人数 53名

勾配が急で雨が降ると滑りやすくなる坂道に、丸太で階段工を施工し安全に歩けるようにしました。また、川を渡る箇所は、崩落しやすい岸斜面に丸太で階段工を施工して登り降りを容易にするるとともに、河床部に石を水の流れに対して平面アーチ状に安定するように設置して、川を安全に渡れるようにしました。

階段工の施工（急勾配な箇所）



岩盤で丸太杭が打設できない箇所もあり、横木の長さや設置位置をその都度考えながら仕上げました。

階段工の施工（川を渡る箇所）



急勾配な箇所は梯子の形状にし、ゆるやかな箇所は丸太で土留するなど、地形に合わせた施工を行いました。

河床部への石の設置



周辺から石を運び、安定するように丁寧に積み上げました。

施工後の様子（川を渡る箇所）



維持管理が簡単な工法を考慮して施工しました。

各峠の道普請終了後に、作業に参加したみなさんから感想や今後の改善点等をお伺いしました。「構造物が出来上がることで愛着がわく道になった」、「楽しく歩いてウォーキングコースとして印象に残る道になった」、「より安全性を確保した施工ができるように工夫が必要」等の御意見がありました。次年度以降も地域の皆様とともに道普請を継続し、利活用方法も検討して、より多くの人に訪れていただける峠道にしていきたいと思っております。

第2回歩く県道（銀山街道）地域づくり検討会の開催概要

- 日時● 平成28年12月16日（金）10時から12時10分 三島町町民センター2階視聴覚室
- 参加者● 銀山街道を活用して地域を元気にする会、旭の歴史を語る会、旭地区公民館、東北芸術工科大学教員、田賀意匠事務所、昭和村・金山町・福島県の職員 合計24名
- 話し合ったこと●
 - ✚ 今年度の道普請の主旨と作業内容を確認し、御意見やご感想をお伺いしました。
 - ✚ 来年度以降の道普請実施箇所等について検討しました。
 - ✚ 元気にする会から今年度の取り組みと11月に実施したロングトレイルのアンケート調査結果について報告がありました。



検討会での主な意見をご紹介します

今年度の道普請について

- ◆ 参加者が協力して作業をし、談笑しながら昼食を食べて、とても楽しかった。これからも道普請を継続し、安心して歩ける道にしたい。
- ◆ 美女峠のわだち掘れ箇所は、次年度以降に丸太を鉄筋杭で固定したり、土のう袋を充填する作業を行って完成させたい。
- ◆ 階段工の施工で河床部に杭が打設できなかった箇所は、周辺にある石を利用して基礎部分を安定させるなど、状況に応じて施工方法を工夫して対応することができた。

わだち掘れ箇所（美女峠）



来年度の道普請実施箇所や計画等について

- ◆ 銀山峠は、整備が必要な箇所の補修は一通り完了している。次年度以降も現地調査後、補修工事等の対策が必要か否かを検討したい。
- ◆ 美女峠は、ウォーキング大会やロングトレイルの時に7号工区がぬかるんで歩きにくかったので、早目に対策をしたい。
- ◆ 吉尾峠の昭和側は、野尻の入口から布沢側に向い順次作業を進めたい。
- ◆ 吉尾峠の只見側は、沢水が道路に溢れ出てぬかるみが酷くなっている箇所を整備したい。早く整備を終えて、吉尾峠を活用して地域に活力が生まれるようなイベントを実施したい。
- ◆ 道を整備するとともに、街道沿線にある昔を偲ぶことができる資源を大切に保存したい。
- ◆ 休憩施設やトイレ、サイン等、ウォーキングコースとして活用するため欲しい施設と整備可能な施設について整理していきたい。
- ◆ 3峠とも雪解け後に現地調査を実施し、施工箇所や施工方法、必要な道路施設等について検討を行うこととする。

ぬかるみが酷い箇所（吉尾峠）



ロングトレイルの様子



ロングトレイルの報告等について

- ◆ 今年度のロングトレイルは11月5日から7日にかけて開催し、述べ25名の参加があった。
- ◆ ロングトレイルの参加者を増やすために、チラシの置き場所を多くしたり口コミを活用し、さらにPRしたい。また、案内の仕方を工夫し参加者により分かり易い説明になるように努力したい。
- ◆ 3月に街道サミットを開催し、エリア内外に街道を活用した取り組みをPRする予定である。

今回の検討会には、市野峠（県道大内会津高田線）を活用してウォーキング等のイベントを開催している「旭の歴史を語る会」のみなさんにも参加をしていただきました。会員が高齢化し、次世代に繋げる体制作り等が課題となっているので、3月に三島町にて開催予定の街道サミットに参加をしたり、「銀山街道を活用して地域を元気にする会」などと連携をしながら、今後も取り組みを継続していきたいとのことでした。

次年度からは、南会津建設事務所管内でも吉尾峠（只見町側）の道普請を実施する予定です。地域の活動団体や行政等がお互いに連携を取り、今後の地域づくり活動を進めていきたいと思っております。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課
TEL 0242-29-5455 FAX 0242-29-5459
福島県南会津建設事務所 企画調査課
TEL 0241-62-5322 FAX 0241-62-5340